

学校を飛び出して、
地元で活躍するオトナを取材しよう！

ゴキブリキヤップを より多くの人のもとへ

株式会社タニサケ
代表取締役社長 清水勝己さん



池田町でゴキブリキヤップの製造をしている株式会社タニサケの代表取締役社長 清水勝己さんに、ゴキブリキヤップの特徴や会社の取り組みについてお話を伺いました。

Q:ゴキブリキヤップはどのようにして誕生したのですか？

40年以上前の話ですが、社名になっている谷酒さんがホウ酸にタマネギを混ぜ、その匂いでゴキブリを引き寄せて駆除する「ゴキブリだんご」を開発しました。うちの会社の創業者であり、現相談役の松岡は、もともと池田町で食品スーパーを経営していました。スーパーにゴキブリが多いことで悩んでいたのが、ゴキブリだんごのことを知り、谷酒さんのところへ行き作り方を教えてもらいました。そして松岡が自分でゴキブリだんごを作り置いたところ、めちゃくちゃ効果があったんです。

「こんなにいい物ならもっと広めよう」と、池田町内の婦人会でゴキブリだんごの作り方の講習会をするようになったんです。それが話題になっていろんなところから取材が来るようになりました。そして「すごくよく効くホウ酸団子を商品として作ってほしい」という声を受けて会社を設立しました。

当社は「ゴキブリに困っている人たちを助けたいという思い」でスタートしたんです。

Q:ゴキブリキヤップの成分やゴキブリを駆除できる仕組みを教えてください。

ゴキブリキヤップの成分はホウ酸やタマネギ、粉末油脂、砂糖など自然由来のものです。主成分であるホウ酸は50%入っています。

遅効性なので食べて何日かしてからしか死なないんです。ゆっくり脱水症状を起こして外に出て死ん

Q:ホームページを読ませていただいて地域との関わりを大切にしていることがすごく伝わってきたのですが、その理由を教えてください。

うちの会社がスタートしたのが池田町のおかげからです。切っても切れない関係というか、町の人の協力があって成長できたと感謝しています。池田町に何か恩返しをしたいと思い、幼稚園や学校に寄付させていただいたり、月に一度、地域の清掃活動も行っていきます。

Q:社員を大切にしている会社という印象を受けたのですが、その理由を教えてください。

働かされているのではなくて自分から進んで仕事をするには、やはり社員さんが気持ちよく働ける場にしたいといけないので、いろんな取り組みをしています。その例として、親孝行手当や家族感謝手当があります。仕事ができるのは家族の協力あるからだと考えているからです。他にも「ありがとうカード」や「パーステーカード」もあります。年に一度の社員旅行も会社で負担して行っています。ここ3年は行けませんでした。今年ようやく復活します。年間休日をちゃんと設けて、休みもちゃんと取って残業もななくすなど、社員が気持ちよく働ける職場を作ることが第一だと思っています。

Q:今後のタニサケさんの夢や目標を教えてください。

いいものを世の中に出していくということですね。本当に効果があつてお客さんにいいと思ってもらえるような商品を開発して行きたいです。将来像でいうと計画は大切ですが、上手くいかないことも多いので、まずは目の前のできることを積みあげていくものかなと思います。



でくれるので、家の中では死骸をあまり見ないというのが特徴的な製品です。

Q:ゴキブリ駆除の効果を高めるゴキブリキヤップの置き方や工夫はありますか？

家全体に置くのがまず基本です。やはりゴキブリが一番多くいるのは、餌となる食べ物が多いキッチンです。キッチンを中心に置くのがいいですね。あと各部屋にも2、3個置くこと。置くポイントは入ってくるところに置くことです。

ゴキブリは3ミリの隙間があればどこからでも部屋に入ってきます。中でも多いのが玄関からの正面突破で、開いているときに一緒に入ってきたりするんです。また、エアコンの排水ダクトとかキッチンの排水口の隙間とかからも入ってきます。水もあつて食料があるっていうのはゴキブリにとって一番住み着きやすい場所です。

Q:高校生に向けて一言お願いします。

好きなことがある人はそれを仕事にするため一所懸命に頑張ってください。ない人は目の前に与えられた仕事をしっかりやると、最初は嫌でもそれがだんだん楽しくなって、結果的にそれが天職になることもあります。好きなことがないなら目の前にある与えられたことをしっかりやることで新しいものが見えてくるのかなと思います。



【感想】

今回のプログラムを通してタニサケさんは利益を出すことだけを考えて取引きを行っている会社ではなく自分たちの会社に関わるお客さんはもちろん社員、地域の方々、すべての人の幸せを考え取引を行っている会社だということを知ることができました。今回のお話を通して学んだことを自分の将来を考えると生かしていきたいと思えます。

【取材・記事】一年 杉山優菜

Q:施設内見学で供養塔をみたのですがなぜゴキブリの供養をするようになったのですか？

その他にも段ボールの穴に卵をうみつけてそれが孵ることもあるので、段ボールを持ち帰った時は注意しなければなりません。タマネギの匂いによる誘引には限りがあるので、侵入経路にはある程度数を置くようにしたほうがいいですね。

当社は生き物を駆除する製品を作って商売をしています。そこに対しての思いやりというか命を頂いて我々が生活させてもらっているという気持ちからです。セリフも社員が考えて書いたものをあそこに刻んでいて、6月4日の「虫の日」には神主さんも呼んで供養祭をしています。

